

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】 平成 24 年度

事業所番号	2774002170		
法人名	有限会社 岸本総合企画		
事業所名	グループホームアミティ豊中		
所在地	豊中市蛍池南町3丁目8-1		
自己評価作成日	平成 24年 12月 20日	評価結果市町村受理日	平成 25年 3月 11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/27/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=2774002170-00&PrefCd=27&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 25年 1月 26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営理念の「その人らしさを大切に 住み慣れた町で仲良く ゆったり 豊かに 楽しい生活を」を基にして、季節の移ろいを感じていただけるように、季節行事を充実させ、お花見やバーベキューの際には、家族様にも参加していただき、共に楽しんでいただけるように努めています。

その他、生活と医療のバランスを考え、出来る限り自立した生活を送っていただけるよう、入居者様の「出来ること」、「出来ないこと」を見極め、入居者様に不安や混乱を極力感じていただかないように努力しています。

薬に関しても、必要最低限の服薬で、副作用を出来る限り少なく過ごしていただけるようにしています。医療的には、早期発見、早期対応を心掛け、主治医も夜間往診して頂ける医院に変更し連絡も密にとり、家族様に相談し、本人様に安心して過ごしていただけるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

法人代表が住み慣れた地域で、「自分の身内も安心して暮らせるホームを作りたい」との思いで設立したホームです。『その人らしさを大切に住み慣れた町で仲よく「ゆったりと」「豊かに」「楽しい」生活を』の理念を職員は共有し、「入居している人が幸せ」を感じてくれるように実践しています。地域との交流も積極的で、運営推進会議の参加者が中心となり、火災や災害時に備え「アミティグループ地域防災支援組織」を作る等、地域の応援団に支えられています。ホームの認知度も高くなり、認知症に関する相談が寄せられたり、「あそこ(ホーム)に行けば、何とか対応してもらえる」と地域からの信頼も寄せています。職員のチームワークもよく、「利用者の笑顔が自慢です」という職員の笑顔も活き活きとしているホームです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員室横に掲示しており、出勤時、退勤時、目に付くようになっており、1人1人が確認できるようにし、スタッフ全員が内容を理解し、ユニット会議では、個人個人の入居者様にとってのその人らしさを話し合いケアにつなげている。	『その人らしさを大切に住み慣れた町で仲よく「ゆったりと」「豊かに」「楽しい」生活を』の理念を職員は共有し、実践しています。理念はホーム内に掲示し、家族や地域の方にも理解を得ています。また、職員の更衣室にも掲示し、日常的に確認するようにしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接した公園に職員や入居者様と近所の方々との団欒の場がある。職員は出勤時、退勤時に挨拶や会話を交わしている。月1回金曜日にクラブを開催しており、その中の1つに喫茶クラブがあり、近隣の方を数名招き入居者様と共にお茶をいただいている。地域とのつながりとして、運動会や盆踊り、餅つき等に参加させて頂き、近くの神社のおみこしが町内を練り歩く際、ホームの前で止まり、見せて下さる。中学生の職場体験に協力しており、学生 2 名の受け入れをしている。歌や踊りのボランティアや近隣の小学生が来訪し勉強会を開催している。	代表が住み慣れた地元に作ったホームということもあり、地域とのつながりが密接です。月1回の「金曜クラブ」で開催する「アミティ喫茶」には、近隣の人も訪れ、利用者と交流しています。近隣の小学校の運動会や敬老会にも参加しています。中学生の職場体験や、小学生の社会見学も受け入れています。ホームで自治会にも加入しています。管理者は老人会にも加入し、宿泊旅行等、行事の際はサポートしています。地域との積極的な関わりの中で、ホームの認知度も高くなり、認知症に関する相談が寄せられたり、「あそこ（ホーム）に行ったら、なんとか対応してくれる」という声が聞こえるようになり、地域からも信頼を寄せています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	月に一回金曜クラブを開催しており、その中に「アミティ喫茶」と称し地域の方々を招き、直ぐに入居するのではなく、ホームの中や入居者様を知っていただき段階を経て入居できる体制を徐々に構築している。電話相談に対しても、おおむね状況を聞かせていただき、当ホームの限界をお伝えし、納得していただいた上で、他のサービス等の紹介をしている。9月には柴原地域包括センターの職員の方と合同で認知症サポーター養成講座を開催し、地域住民の方にご参加頂き認知症の事についてより理解を深めて頂いた。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回開催し、入居者様の状態や地域の行事への参加、今後の行事の予定、クラブ活動等の催し等を報告している。メンバーの方から、地域の行事への参加のお誘いやウエスの寄付等入居者様へのサービスの質を向上させる為の助言や地域の方々と交流の橋渡しをしていただいている。また、以前入居されていた家族の方が中心となり火災や地震等の有事の際には駆けつけて頂ける地域の方々と職員から成る「アミティグループ地域防災支援組織」を結成することが出来た。	市職員、地域包括支援センター職員、地域住民代表、知見者、利用者、家族代表の参加で2ヶ月に1回開催しています。会議では、事業所の運営状況や行事について説明し、参加者からの意見や助言をサービスの改善・質の向上に活かしています。参加者からの意見で、火災や災害時に備え「アミティグループ地域防災支援組織」を結成することができました。また、認知症サポーター養成講座やグループホーム同士の一泊旅行等も参加者からの意見を参考に実現できました。会議の議事録は、ホームの来訪者が閲覧できる場所に置いています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	書類提出等で月1回は市の窓口を尋ねるようにしており、気軽に相談できる関係作りに力を入れている。そのほか社会福祉協議会からの相談員の受け入れや110番子供の家、市民救命サポーター・ステーションになっている。また、以前入居されていた家族の方が中心となり火災や地震等の有事の際には駆けつけて頂ける地域の方々と職員から成る「アミティグループ地域防災支援組織」を結成することが出来た。	市の担当者とは、普段から相談しやすい関係を築いています。市からの情報提供や研修・講演の機会である事業所連絡会にも出席しています。「110番子どもの家」や「市民救命サポーター・ステーション」の指定も受けています。介護相談員も受け入れ、利用者の声を聞いてもらっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束は一切しておらず、すべての職員に徹底している。電子ロック錠に関しても、横に暗証番号を掲示しているの で、3階の入居者様は、リビング、居室を自由に昇降される方も居られる。言葉の拘束に対しても、その都度話し合い、行動を抑制するような声掛けは極力せず、入居者様お一人お一人が思い思いに過ごせるよう心掛けている。	「身体拘束等の排除のための取り組み」の研修を実施し、身体拘束に関する職員の意識を徹底させています。言葉の拘束についても、その都度注意し合っています。管理者は、注意しやすい関係作りに工夫しています。玄関やエレベーターの電子ロック錠は、横に暗証番号を提示しています。報道される他施設での高齢者虐待等についても話題にして、高齢者虐待防止について、職員間で確認し合っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ユニット内でも、日常的に管理者やリーダーが職員とコミュニケーションをとり、不満や意見を聞き、常に職員の心のケアに勤めるよう心掛けている。人と人のかかわりの中で性格上合う、合わないがあり、時間やタイミングによっても変わってくる。そのことを踏まえ、スタッフ同士で助け合い、交代し合える様に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者およびケアマネージャーが対応しており、職員への説明はその都度行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、図表を取り入れ、わかりやすく簡素化した上で、それを基に口頭で説明を加え理解していただけるよう工夫している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員さんの定期的な来所により、入居者様からの相談事については、相談員さんから施設側へのフィードバックできる体制を取っている。家族様に対しては、管理者やケアマネジャーが面会にこられた際等に話を聞き対応させて頂いている。玄関には、公的な苦情受付機関や介護相談員の来所日をお知らせし、相談、苦情解決の第三者窓口を紹介している。その他、ホーム内での相談（苦情）受付担当者や相談（苦情）解決責任者を掲示している。毎月家族様に送付しているアミティ通信（事業所だより）は運営推進会議内で家族様の代表者の方より、「もう少し細かく詳しい内容を書いて頂くとうりいいですね。」「特にお変わりございません」では少しさみしいです。大きな写真を載せて頂いているので、その場の雰囲気伝わります」という要望によりフォーマットを変更させて頂いた。	家族の面会時には、その都度利用者の生活状況を伝え、意見や要望も聞いています。毎月、利用者の生活状況や行事での様子が伝わるよう写真を添付し、行事予定や介護目標を書いた「アミティ通信」を家族に送付し、喜ばれています。内容は家族の意見を取り入れより充実させています。屋上でのバーベキューには家族も参加し、一緒に楽しんでもらっています。	家族等の面会時には意見や要望等を傾聴しています。今後は家族の要望だけではなく、家族の満足度等に関するアンケートを行い、日頃の業務にもつながるような成果が期待されます。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議で、スタッフより意見を集め、リーダーは、運営会議に参加し、代表者、管理者と意見交換ができる時間を設けている。その他、代表者、管理者はスタッフと個別に話し合う時間を設けるように努めている。	管理者は日頃から、職員とのコミュニケーションを大切にして、話しやすい関係を作っています。フロア会議・運営会議・全体会議等で職員の意見を出し合い、サービス向上に活かす機会にしています。職員の意見で、業務や記録用紙を見直し、利用者に関わる時間をより多く作るようにしました。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、スタッフと会話する時間を多く持つようにしており、ストレスの軽減や予防、研修への参加希望等に耳を傾けている。各スタッフのレベルに応じた研修への参加要請も行なっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	奇数月にミニケアレポートと称し講師が事業計画で定めた季節に応じた感染症や病気、ケアの注意点をお題に何問か出題し職員が宿題として行うミニケアレポートと偶数月に講師が事業計画で定めたお題を職員に講義する内部研修を実施している。内部研修に参加出来ないスタッフには回覧研修を行っている。外部の研修も案内を掲示し、希望があれば検討している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業者連絡会や地域のグループホームの合同運営推進会議に参加させていただき、研修や事業所で抱えている悩みを相談する機会を設け、活発に意見交換や交流を図っている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当時は不安が多く、混乱されていることも少なくない。そのことを踏まえ、家族様より生活暦、趣味趣向を聞き、コミュニケーションの時間を多く持ち、各スタッフを信頼し、安心して過ごしていただけるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	電話相談では、おおむね状況説明をして下さるが、来訪されてからは、相談できる場所は設けているが、初回より話される家族様は少なく、何度か来訪されるうちに信頼関係が築け、辛かった日々の話を打ち明けられる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	電話相談時におおむね状況を聞かせていただき、当ホームの限界をお伝えし、納得していただいた上で、他のサービスの紹介をしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活のことや調理のこと、時には女性の入居者様に味見をして頂いたり、食材を盛り付けていただいたり、リビングの掃除を手伝っていただいている。昔の風習や方言等教えていただいたり、相談したり一緒に考えたり出来るように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様来訪時には、職員との意見交換が出来る時間を設けており、現在の状況や生活暦、本氏からの言動等の疑問を相談し今後のケアの方針を話し合うようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームの開放により、馴染みの人の来所はなされており、外食やお散歩に行かれる方も居られ、時々電話での連絡もあり、本人様におつなぎしている。	職員は、馴染みの人が自由に来てもらう雰囲気づくりを心がけています。サークルの友達や、入居前に住んでいた隣家の孫の訪問もあります。年末には年賀状を作成し、馴染みの人に出しました。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	カラオケや園芸、手芸等のクラブを作り、得意な事、昔されていたことに参加していただいている。その中で馴染みの関係を作り、共に作業したり、お互い助け合ったりされている。日常生活の場においても、入居者様同士困っておられたら助け合う関係が出来ているので、人間関係を考慮し、席を考え、入居者様同士親睦を図れるよう心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	介護度の関係や入院治療等の理由で退所された方に対しても、電話連絡やお見舞いに行き、本人様の容態や、家族様の悩みを尋ねるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様の思いや暮らし方をたずね、それに沿って支援できるよう心がけている。本人様から聴取が困難な場合は、家族様より生活暦や趣味等を聞き、本人様に楽しんで頂ける様に心がけている。	利用者一人ひとりの状態や思い・意向を把握するために、入居時のフェイスシートやアセスメントシートを活用しています。入居後の日々の新たな情報は、その都度「生活歴追記シート」に記入し、情報の共有化を図っています。	毎日の支援で得た、気づきや発見を職員間で共有できるシートの検討で、更に「その人らしい」支援に繋がることが期待されます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される際、所定の用紙を家族様に記入して頂きその情報を元に本人様とコミュニケーションを取り、情報を得ていくようにしている。入居された後、家族様と信頼関係が徐々に構築され職員との会話の中で、本人様の情報をお教えいただいた際に記入できる生活履歴追記シートを使用し全ての職員が出来る限り同じ情報量を共有できる様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体操や水遣り、昼寝等習慣化された事やその日の状態によって、1人、ひとり違った一日を過していただいている。又、一人、ひとりが日々過されていく中でも、有する力が変化して行く事を頭に入れ接し、何気ない動作の中にもいつもと違う何かを感じ取れるようにし、総合的に判断、把握できるように努めており、その日の出来る事、出来ない事を判断し、その場、その場で、対応を変える様に心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族様に面会時、希望、要望を聞くだけでなく、現場職員の意見を反映する為にケア会議やフロアーミーティングにより話し合う場を設けている。	利用者・家族が希望する介護方法を記入したフェイスシートを基に、介護計画を作成しています。基本的には3ヵ月毎に、状態の変化がある時は、その都度、見直しを行っています。毎日記録する「ケアチェック表」は利用者毎に用紙があり、介護計画が記入され、介護計画に沿った支援が実施される仕組みになっています。サービス項目毎に毎日モニタリングを行い、月毎のスタッフ会議でカンファレンスを行います。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフの気付きや発見、入居者様の言動を記入するようにしており、書き方を統一するように心がけている。ケアチェック表にはケアプランも記載されており、毎日サービスが提供できたかチェックする枠が設けられており、介護計画の見直しに役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院等家族様の意向により職員や管理者が付き添い出かけている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	選挙や敬老の集い、市民健診等に参加し、小学校や中学校に出向いている。その他、地域の季節行事も介護相談員の方から声を掛けていただき参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所以前からかかりつけ医が居られる場合は、入所されてからも継続していただけるよう体制を取りドクターと事業所との信頼関係を構築し保てるよう心掛けている。病状が変わられた場合に関しても、本人様、家族様と相談し、新規に病院と本人様、事業所の信頼関係を築けるよう心がけている。ターミナルケアも視野に入れ、夜間や急変時にすぐ往診して頂ける医師に主治医になって頂いた。	入居前からかかりつけの医療機関へ受診する際に、家族の付き添いが困難な場合は、職員がサポートしています。ホームの主治医は月1回の往診ですが、夜間や急変時にも往診してもらえます。歯科医にも往診に来てもらいます。日常的には、看護師との医療に関する申し送りノートを作成し、利用者の健康に関する支援に活かしています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師との連絡ノートを作成している。その他にも、口頭での指示、実際の手技を観て看護師がいない場合でも、出来る範囲で支援している。受診の際も、本人様の状態を看護師に伝え、本人様の状態を把握し、適切な医療、処置を受けることが出来る様、出来る限り看護師も立会い受診している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	主治医と連絡を密にとり、症状が悪化しないように早期発見、早期対応を心掛けており、入院された場合は、入院された医療機関に、なるべく短いスパンでお見舞いに行き本人様の状態を直に観察し、ドクターや看護師から状態の予後を聞き早期退院に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で、ホームの限界を説明し、理解していただいております。家族様とは、面会の際、常に話し合いの時間を持ち、終末期の方向性を検討し、主治医や看護師から助言をいただき、本人様の意向になるべく添えるようにしています。	重度化や終末期に関するホームの考えは、契約の際に説明しています。実際には、主治医と家族の話し合いで支援の方法を決めていきます。現在は、「常時、医療が必要になった場合」「口から食事ができなくなった場合」はホームでの支援が困難である旨、説明しています。今後は看取りもできるように、研修を実施している状況です。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員はほぼ全員普通救命講習を受講しており、市民救命サポーター・ステーションに登録している。定期的にミニクアレポート等で緊急時の対応を再確認している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策のマニュアル、緊急連絡網を作成し、災害時対応出来る様に体制を整えている。年2回避難訓練を実施している。また、以前入居されていた家族の方が中心となり火災や地震等の有事の際には駆けつけて頂ける地域の方々と職員から成る「アミティグループ地域防災支援組織」を結成することが出来た。	災害マニュアルを作成し、年2回の避難訓練を実施しています。ホームは、市民サポーター・センターに指定されています。運営推進会議の参加者からの意見で、火災や災害時に駆けつけ「アミティグループ地域防災支援組織」を結成し、地域の方たちがメンバーとなっています。水や非常用食品も備蓄しています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉づかいやプライバシーについては会議や内部研修、ミニケアレポートのお題としても取り上げ、個人レベルでも勉強し、徹底している。日頃のケアの際も、耳障りな表現や不適切な声掛け等を互いに注意し合える関係作りをしている。	「マナー、言葉遣い、プライバシーの保護」の研修を行い、利用者を尊重するケアの大切さを確認しています。日常のケアの中で気づいたことは、お互いが注意し合えるような関係作りをしています。『「ゆったり」「豊かに」「楽しい」生活を』の理念を実践する職員は、「明るく、丁寧にやさしく」を心がけています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の希望や要望を理解力に合わせた表現方法で納得して頂き、職員には決定権は本人様にあることを徹底している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	運営理念にもあるように「その人らしさを大切に」を念頭に置き日々業務を優先するのではなく、まずは共に座りコミュニケーションを密にすることを優先し、笑顔が見られる対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣の際は本人様に服を選んでいただいている。基本的にはホームへ来訪し行なっていただいているが、理容、美容に関しても、希望に沿える様な体制をとっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	手伝っていただける方には、調理、配膳、下膳、食事用マット拭き、机拭きに参加していただいている。調理に関しては、原材料を持ってきていただき、料理が出来るまでの音やにおい、時には味付けに希望があれば沿えるようにし、楽しんでいただいている。箸や茶碗、湯飲みに関しては、使い慣れたものを持ってきていただき使用していただいている。希望があれば、外食やホームでお好み焼き、たこ焼きを作り食していただいている。入居者様、家族様にもご好評頂いているバーベキューを屋上や玄関先を利用し年二回開催している	材料は業者から仕入れ、職員が3食調理しています。下ごしらえ、調理、盛り付け等、利用者の得意なことは力を発揮してもらっています。オープンキッチンからは、食事準備の匂いや音が聞こえてきます。また、季節を感じられる献立も工夫しています。今年は、ホームでの餅つきを実施し、利用者に喜んでもらう計画です。介助の必要な利用者も増えてきましたが、職員は利用者と同じ食卓に着き、同じ食事をとりながら、利用者のペースに合わせて介助しています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をして いる	水分の補給量、食事の摂取量をケア チェック表に記録し、全職員が情報を 得られるようにしている。水分に関し て、嚥下困難な方に対しては、トロミを つけ、コップで飲みにくい方に対して は、吸い飲みで提供している。食事に関 しても、咀嚼の状態に合わせ、刻み やミキサー等、その方にあわせていろ んな形態でお出ししている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後、就寝時の歯磨き、口 腔ケアを実施している。又、歯磨きが 困難な方には口腔ケア用のウェットテ ィッシュで清拭させて頂いている。義歯 使用の方には、適宜ポリドントを使用 し洗浄させて頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を 活かして、トイレでの排泄や排泄の自立 にむけた支援を行っている	入居者様一人、ひとりの排泄リズムを 把握するため、チェック表を作成し、パ ターンをつかむよう心掛け、声かけを 行っている。拒否もあり、難しい点もあ るが、普通の下着、紙パンツ等段階を 経ている。少しずつではあるが、オム ツの方も、出来る限り、トイレに座り排 泄していただけるよう支援している。	排泄は基本的にトイレで行っていま す。利用者一人ひとりの排泄パターン を把握し、随時声かけを行いながら、ト イレ誘導しています。オムツ使用の利 用者には、排泄表を使って排泄パター ンを把握し、トイレでの排泄が可能に なった事例があります。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給やホットパック、着座して頂き腹部マッサージを行う等支援させていただいている。入居者様によっては、下剤の使用や食事の際お茶をゼリー状にしたものを食べて頂いている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	スタッフの都合を優先させるのではなく、入居者様の気分やその日の体調で判断し、極力本人様の希望に沿えるようにしている。車椅子の方が多く、多少の難しさは有るが、出来る限り浸かり、ゆっくりしていただける様心掛けています。	平均週3回の入浴です。入浴を好まない利用者には無理強いせず、時間や対応職員を変える等、工夫しながら入浴支援を行っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様一人、ひとりの生活習慣をなるべく崩さないよう心掛け、一日の中で睡眠時間を確保している。また、レク等も強制せず、帰室される方は自由にしていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	症状、服薬に関して申し送りノートに記し、薬を組む者、確認する者、服薬支援する者、その薬が本人様のであるか確認する者、という風に薬に関する確認は二者確認しており、入居者様全員の内服に関しては、内服一覧表と、写真入で作用、副作用を確認できるようファイルを作っており、職員全員が閲覧している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	習慣化することで、ご自分の役割だと感じていただけ、今は、日めくりカレンダーをめくったり、テーブル拭きを継続されている。又職歴や趣味を活かせるお手伝いをお願いしている。懐かしい歌の番組やビデオを見ていただくと口ずさまれる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	屋上への外気浴や洗濯物干し、散歩、近所の公園には出かけているが、拒否もあり、毎日は難しい。ベランダにプランターを置き、野菜や花を植え、水遣りをしていただいている。本人様の希望により近くの店へ買い物に出かけたり、喫茶店へ出かけているが、場所等により家族様の都合もあり実現は困難に近い。サブリーダー会議にて、レベルに合わせたグループ分けをさせて頂き、買い物や散歩、喫茶店に出かけていただいている。	個別のケアチェック表に「外出」の項目もあり、利用者毎に外出状況がわかる工夫をしています。盆踊りや運動会等地域の行事への参加、家族との外食、花見、買い物、おやつを戸外で食べたり、近くの公園への散歩等外出の機会をいろいろ工夫しています。外出できない時には、日当たりのよい屋上で外気浴をしますが、重症化した利用者へもできる限り外出できる支援をしたいと考えています。	気候の良い時期には、外出機会が少ない利用者も家族やボランティア等の協力も得る等の工夫により、外出する機会を増やすことが期待されます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自動販売機で、コーヒー等を購入される際は、お金をお渡しし、ご自分の好みの物を選び、購入していただいている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	事務所へご案内し、電話をかけていただいている。時間帯によっては、フロアからも電話できるようにしている。年末には年賀状を作成し、投函された。		
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	オープンキッチンになっており、視、聴、嗅覚で料理を感じていただける。毎月ボードに装飾をして季節感を出している。カーテンを2重にする等不快な光を極力なくし、各居室、リビングの照明に関しても段階的に調節できるようになっている。	利用者は、日当たりのよい家庭的な雰囲気のリビング兼食堂で、テレビや新聞、週刊誌等を見たり、家族との面会や利用者同士の語らい等をしながら、自由にゆったりと過ごしています。オープンキッチンは、食事への楽しみが感じられ、調理等にいつでも参加できます。玄関付近にはさまざまな花があり、ホーム内には季節感のある装飾や小物等が置かれ、生活空間を大切にしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	少し離れた場所に、二人がけのソファを置き、お一人や気の合う者同士でくつろいでいただいている。食事の席で、気の合う方同士お話をされたり、新聞や雑誌を読まれたりされる。又、別のソファでもお話やテレビを楽しまれている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用しておられた家具や寝具等を、入居時に出来る限りもって来ていただき、使用していただいている。入居者様の中には家族様、ご友人から頂いた花等を飾っておられる。カーテンは、防火カーテンを使用しているため、ホームの物を使用していただいている。	馴染みの物の持ち込みは、居室に収納できる大きさなら可能で、各居室には洗面台があります。手作りの表札のあるドア、使い慣れたベッドやタンス、仏壇、家族の写真、ぬいぐるみ、装飾品等があり個性的な居心地良い居室になっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	エレベーターや玄関には、解除番号を掲示している。各居室には、手作りの表札を作り、トイレに関しても手作りで案内や札を作り、わかりやすいよう配慮している。動線にはなるべく物を置かず、十分なスペースを確保している。必要な方の居室内、廊下等入居者様が不安に思われるところには手すりを設置している。		